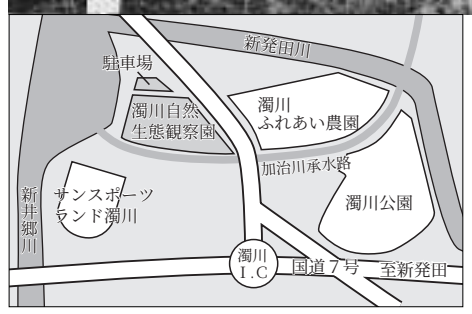
緑の田園整備事業

濁川自然生態観察園が完成

旧新井郷川排水機場の跡地に、濁川自然生態観察園が完成しました。

濁川自然生態観察園（上）と位置図（下）



同園は、市の緑の田園整備事業の一環で、身近な自然を観察する場として、整備を行ったものです。

園内には、トンボが生息できる環境づくりを目標に、1180平方の池を設けています。この池は、加治川承水路の水を利用し、せせらぎ水路を流れ、クワイやハスを植えた水田を通り、池に流す仕組みになっています。池の水深は、変化をもたせ、最深部は130になり、たくさんの種類の植物やトンボが生息できるようにしています。

池のほとりには、観察舎を設置。草木が育成すると、今後は、いろいろな生物などを観察できるようになります。

濁川地区は、緑の田園整備事業のモデル地区として、市民が自然や農業に親しむことができる場をつくろうと、市と地域の皆さんが一体となって、整備を進めてきました。

平成10年4月には、濁川ふれあい農園がオープン。土との触れ合いや自然の恵みを楽しむ場として多くの人に利用されているほか、新発田川機械排水路や加治川承水路の農業用排水路用地に、植栽、通路などの整備が進められてきました。

自然生態観察園は、同事業の中核施設として、同地区の水と緑のネットワークの構築に大きな役割を果たします。

今後は、北地区スポーツセンター付近までの加治川承水路沿いを引き続き整備し、一連の整備が完了すると、この地区には水と緑と花に囲まれた田園ラインが出来上がります。

問い合わせ 農地課（2575）へ

「にいがた環境行動プラン」を策定

市民編など3編で構成

市では、市民や事業者のみなさんに自主的に環境保全に取り組んでもらうことを目的に「にいがた環境行動プラン」を策定しました。

同プランは、市民編、民間団体編、事業者編の3編から構成。それぞれの立場でのテーマを設定し、よりよい環境を守りはぐくんでいくためにはどのような活動や行動をするべきかなどが盛り込んであります。

市民編では、大量消費や廃棄型の生活スタイルの見直しをテーマに、人と環境とのかかわりついて理解を深め、市民ひとりひとりが環境に配慮した日常生活での実践を目指す内容となっています。

民間団体編は、環境保全への組織的な役割をテーマに地域への取り組みなどについて、事業者編では、循環型社会に向けた事業活動をテーマに公害の防止や省資源・省エネルギーなどについて挙げています。

なお、市でも地球温暖化の原因のひとつとして考えられる二酸化炭素の排出を抑制することを目的に「市環境保全率先実行計画」を策定し、昨年7月から、省エネルギーや廃棄物の削減などに全庁的に取り組んでいます。

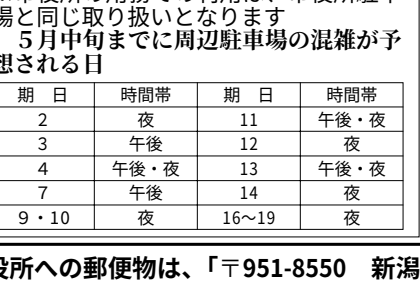
「にいがた環境行動プラン」市民編パンフレットを配布

多くの市民の皆さんに「にいがた環境行動プラン」を実践してもらおうと、市民編をカラー印刷見開きA4版にまとめたパンフレットを作製しました。

あす5月1日から配布しますので、ぜひご活用ください。

配布場所 市役所本館・分館案内、地区事務所、連絡所、公民館、ほか

問い合わせ 環境対策課（内線2728）へ



市民編のパンフレット

りゅーとぴあ

7月4・5日 マルセ太郎独演会

映画再現芸と立体講談

りゅーとぴあ（市民芸術文化会館）では、7月4・5日に「マルセ太郎独演会」を開催します。

マルセさんは、形態模写、映画再現芸、ひとり芸、喜劇の脚本・演出において独自の芸境を開いています。がんと闘いながら、精力的な活動を続け、ボードビル界の巨人と称されています。何もない空間でたったひとりで語り、演じきる独演会のなかでも、マルセさんの芸の真骨頂である「映画再現芸」と「立体講談」の代表芸を2夜にわたってお送りします。

4日は、「スクリーンのない映画館」として小栗康平監督の名作映画「泥の河」を、最初から最後まで丸ごと語り尽くす映画再現芸を披露。5日は、新国劇の誕生を独自の視点から推察し、語り演じる、立体講談「殺陣師段平物語」をお送りします。

不器用であっても、まっとうに生きる無名の人物を主人公に据えた笑いと感動の芸が、スタジオBという小劇場空間で繰り広げられます。ぜひご覧ください。

日時 7月4・5日午後7時開演

会場 りゅーとぴあスタジオB

チケット 3000円（全席自由）※5月2日からりゅーとぴあおよび市内の主なプレイガイドで発売

問い合わせ りゅーとぴあチケット専用ダイヤル（224・5521）へ

市會津八一記念館

早稲田大学曾津八一記念博物館と提携

共同研究など幅広い交流を推進

調印する両館館長

4月18日に、市會津八一記念館と早稲田大学會津八一記念博物館が、交流に関する協定を結びました。

同協定には、両館の所有する収蔵資料の相互利用、収集情報の相互交換、共同研究プロジェクトなどが盛り込まれています。同協定の締結により、八一の業績を顕彰する両館の関係を密接にし、八一の研究や文化的交流を深め、八一の書をはじめとする芸術・文化の社会的振興を共に図っていくことになります。

この提携について、市會津八一記念館の小柳マサ館長は「いわゆる姉妹館の関係となり、今まで以上に気楽な気持ちで研究の成果などを教えてもらえるようになった。この協定を、八一業績を全国に向かって発信していく契機にしたい」と話していました。

また、平成10年5月に開館した早稲田大学會津八一記念博物館の高橋榮一館長は「開館当時からこのような協定を望んでいた。ようやく機が熟したという感じだ。それぞれの持っているコレクションを補い合い、効果的な展覧会などを実施していきたい」と抱負を語っていました。

にいがた歴史塾

少人数制でじっくり学ぶ

古文書の読み方　参加者募集

市では、皆さんから本市の歴史に親しみ、学んでもらおうと「にいがた歴史塾」を開講します。

同歴史塾の第1弾として、5月23日から歴史探求実践セミナー「古文書の読み方」を開催します。

同講座は、初心者を対象に少人数制で実施。15回の演習を通して、用語の意味や崩し字の読み方、内容の解読方法などを学びます。

古文書は、私たちの祖先が記した書類ですので、読めない訳がありません。今は全く読めない人でも、同講座を通して、基礎的な江戸時代の古文書が解読できるようになります。

博物館に展示してある古文書を読んでみたい、古文書を読んで歴史を調べたいといった人は、ぜひ受講してください。

市では今後、にいがた歴史塾として「郷土史講座」、新潟の人々が使ってきた道具や日用品を調べる「民具の見方・調べ方」、小学校3年生以上を対象に地域の歴史に触れる「こども地域歴史探検」を実施していきます。

古文書の読み方

日時 5月23日～来年2月27日午後6時半～8時半（第2・4火曜日、全15回）

会場 万代市民会館

定員 15人

申し込み 5月10日(必着)までに往復はがきに講座名、住所、氏名、電話番号、年齢を記入し、〒9551・8550歴史文化課（内線2254）へ　※応募多数の場合抽選

石山地区公民館

初心者レクダンス講習会

日時 5月16・23・30日午前11時10分～午後0時40分
定員 先着20人
申し込み 同館（286-5631）へ

市役所周辺駐車場案内

市役所本館および分館の駐車場が混雑している場合は、白山公園または陸上競技場の駐車場を利用してください。
※市役所の用務での利用は、市役所駐車場と同じ取り扱いとなります

5月中旬までに周辺駐車場の混雑が予想される日

期　日	時間帯	期　日	時間帯
2	夜	11	午後・夜
3	午後	12	夜
4	午後・夜	13	午後・夜
7	午後	14	夜
9・10	夜	16～19	夜

坂井輪図書館

読書会

日時 5月10日午前10時～正午
会場 坂井輪地区公民館
テーマ図書 「夫と妻」永六輔著（岩波新書）　**申し込み** 当日直接会場へ
問い合わせ 同図書館（260-3242）へ

東地区公民館

子育てサロン

日時 5月1日～29日毎週月曜日午前10時～午後2時　**対象** 未就園児と親
申し込み 当日直接同館へ
問い合わせ 同館（241-4119）へ

大形公民館

ちいきの茶の間～共育（ともだち）ひろば

日時 5月17・24日午前9時半～正午
内容 子育ての情報交換、世代間の交流
対象 未就園児と親
申し込み 当日直接同館へ
問い合わせ 同館（270-8133）へ

親子米づくりチャレンジ教室

期日 5月14日、8月6日、9月下旬（日曜全3回）　**定員** 親子30組
内容 田植えや稲刈りの体験
申し込み 5月8日（必着）までに、はがきに住所、親子の氏名・年齢・性別、電話番号を記入し、〒951-8550農林課（内線2556）へ　※応募多数の場合抽選

関屋地区公民館

申し込み 同館（266-4939）へ

ふるさと関屋楽
日時 5月13日～来年3月10日午後1時半～4時（全10回）　**対象** 先着45人
内容 関屋地域の歴史・文化・自然の学習、現地研修、資料の発掘・調査、ほか
参加費 500円

絵本のひろば
日時 5月12日午前10時半～11時半
内容 絵本の読み聞かせ
対象 親子先着15組

會津八一の歌を読む会

日時 5月6日～来年3月3日第1土曜日午後2時～4時
会場 寄居コミュニティハウス
定員 先着10人　**参加費** 11,000円
申し込み 市會津八一記念館（222-7612）へ

大畑少年センター

申し込み 同センター（228-4100）へ

父の日プレゼントづくり～陶芸でマグカップをパパにプレゼントしよう
日時 5月13日・27日午前10時～正午
対象 小・中学生先着30人
参加費 500円

学生たちのエンジョイプラン＆笹だんごづくり！
日時 5月21日午前9時半～午後2時半
対象 小・中学生先着40人
参加費 800円

市役所への郵便物は、「〒951-8550　新潟市役所○○課」で届きます。